



▲弁財ヶ浜の植樹。計14本のユリノキを植えました



▲泉福寺展であいさいつする柳原校区会長。会場から溢れるほど参加者が集まりました

地域の話題

清田校区

「歴史」「自然」、地域の宝を次の世代へ

地域の歴史や自然を再認識しようと

活発な活動を行っている

清田校区「コミュニティ協議会」からお便りが届きました。

清田校区では、地域の「宝」を掘り起こし、受け継いでいくため、平成27年度に2つの大きな事業を実施しました。

「泉福寺展」地域の歴史を懐かしむ、理解する

平成27年12月6日（日）、清田市民館で「泉福寺展」を開催し、地域住民など約100名が参加しました。

渥美半島でも有数の歴史を持つ泉福寺の歴史と文化的価値を知ること、地域の貴重な「宝」を後世に伝えるために企画したものです。

会場には、昭和37年に焼失した本堂が写る貴重な写真や寺の中の様子が分かる「泉福寺平面図」などの資料を展示しました。また、市の学芸員が寺と地域のかかわりについて講座を行いました。その後、実際に現地へ

移動し、参

道や泉福寺

を歩きなが

ら、説明会

を実施しま

した。

参加者か

らは、「懐

かしい。子

どものころ

に訪れたが詳しいことは知らなかった」

「貴重な歴史や寺を守りたい」といっ

た意見が出ていました。

これからも、地域にある文化財の価値を再認識し、まちづくりに生かしていきたいと思います。

地域の憩いの場「弁財ヶ浜」

これからも人々が集まるために

平成27年12月22日（火）、弁財ヶ浜



▲現地説明会。事前の参道整備には、地域の方々が倒木を除去するなど汗を流しました



でユリノキの植樹を行いました。昨年度、市の市民提案型委託事業を申請し採択され、今年度、環境と景観整備事業として取り組んできたものです。

弁財ヶ浜は憩いの場として昔から親しまれてきました。しかし、新しく堤防道路ができると旧道路が使われなくなり、木々がうっそうとするなど環境整備が課題となりました。

そこで、住民が一丸となり、定期的に清掃を続け、活動を通じて地域の人たちにも関心を持ってもらいました。また、周辺住民や観光客の津波避難用に、避難路も整備しました。

そして、今回のユリノキの植樹には、自治会役員、老人会などの協力の下、清田小学校を卒業する6年生とその家族が参加しました。

自らがかわることで地域に関心を持つ子どもが増え、地域の宝が次の世代へと継承されていくことを願っています。